

1 言葉の単位

▼次の文を、〈例〉にならって文節ごとに／で区切り、単語ごとに――線を引こう。

〈例〉明け方に／雨が／降った。

- ☐ ① カップに温かい紅茶を注ぐ。
- ☐ ② 新鮮な魚を手早く調理する。
- ☐ ③ 郵便ポストに手紙を出しに行く。
- ☐ ④ バスの出発時刻を確かめておく。
- ☐ ⑤ 選手たちは一斉にプールに飛び込んだ。

2 文の組み立て

▼次の文の――線部の文節どうしの関係を、後の□から選んで、記号で答えよう。

- ☐ ① 自転車で河原に行ってみる。 □
- ☐ ② 合唱団の歌声が講堂に響き渡った。 □
- ☐ ③ 飛行船がゆっくりと上空を通過した。 □
- ☐ ④ 日が傾いて、空も海も赤く染まった。 □
- ☐ ⑤ 祖父は繰り返し平和の尊さを語った。 □
- ☐ ⑥ 妹ばかりでなく、弟まで僕に反対した。 □

ア 主・述の関係	イ 修飾・被修飾の関係
ウ 補助の関係	エ 並立の関係

3 単語の種類

▼次の文の――線部ア～チの単語について、後の問いに記号で答えよう。

- ^{アイウ}手をきれいに洗^エい、それ^オから昼食^カを取^キった^ケ。
- ^コああ、あ^サの美^シしい山^スにいつ^セか登^タりたい^チ。

- ☐ ① 自立語を全て選ぼう。 「」
- ☐ ② 付属語を全て選ぼう。 「」
- ☐ ③ 活用する単語を全て選ぼう。 「」
- ☐ ④ 活用しない単語を全て選ぼう。 「」

4 自立語

▼①～⑧がそれぞれ同じ品詞のグループになるように、「」に入る単語を下のから選ぼう。

- | | | | | |
|---------------------------------|--------|------|----------------------|----------------------|
| ☐ ① ドア | 北海道 | 一つ | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| ☐ ② 回る | 味わう | 植える | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| ☐ ③ しかし | そして | だが | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| ☐ ④ ああ | おはよう | さあ | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| ☐ ⑤ もし | ゆっくり | さらさら | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| ☐ ⑥ 爽やかだ | 無理だ | 急だ | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| ☐ ⑦ この | あらゆる | おかしな | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| ☐ ⑧ 寒い | みずみずしい | 新しい | <input type="text"/> | <input type="text"/> |

だから とても
いいえ 窓
どの 浅い
変わる のどかだ

▼次の——線部の品詞をへ——から選んで、記号で答えよう。

- | | | | |
|------------------------------|---------------------|----------------------|----------------------|
| ☐ ① ア | 小さな花が咲いている。 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| イ | 上着に小さい穴が空く。 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| へ a 形容詞 | b 連体詞 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| ☐ ② ア | いろいろな国を旅したい。 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| イ | いろいろな絵はがきを集める。 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| へ a 形容動詞 | b 連体詞 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| ☐ ③ ア | それは私の宝物です。 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| イ | その絵は僕が描いたものです。 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| へ a 名詞 | b 連体詞 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| ☐ ④ ア | 彼らは楽しそうに笑い、歌った。 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| イ | 兄はかすかな笑いを浮かべた。 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| へ a 名詞 | b 動詞 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| ☐ ⑤ ア | 子孫のために地球の自然を守る。 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| イ | あの監督は自然な表情を撮るのがうまい。 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| へ a 名詞 | b 形容動詞 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| ☐ ⑥ ア | あなたとまた会いたいと思います。 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| イ | 彼女は画家であり、また詩人でもある。 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| へ a 副詞 | b 接続詞 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| ☐ ⑦ ア | あれが私の通っている学校です。 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| イ | あれ、田中さんはどこに行ったのかな。 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |
| へ a 名詞 | b 感動詞 | <input type="text"/> | <input type="text"/> |

5 用言の活用

▼次の——線部の動詞について、④活用の種類と、⑤活用形を後の□から選んで、記号で答えよう。

- ① まもなく彼が来る時間だ。
□② もう少し落ち着いて話せ。
□③ 校門の前で友達を待つ。
□④ 人の嫌がることはしない。
□⑤ 試合開始から三十分が過ぎた。
□⑥ 窓を閉めれば、静かになる。
- ④ 活用の種類
a 五段活用 b 上一段活用 c 下一段活用
d カ行変格活用 e サ行変格活用
- ⑤ 活用形
ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形
エ 連体形 オ 仮定形 カ 命令形
- ④ 活用の種類
a 五段活用 b 上一段活用 c 下一段活用
d カ行変格活用 e サ行変格活用
- ⑤ 活用形
ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形
エ 連体形 オ 仮定形 カ 命令形

▼次の——線部が、④形容詞なら○を、形容動詞なら△を「」に書こう。また、

⑤活用形を後の□から選んで、記号で答えよう。

- ① この本は小学生には難しい。
□② 遠回りをしたほうが安全だろう。
□③ 早ければ、正午に着くはずだ。
□④ 夕方の商店街はにぎやかだった。
□⑤ 真つ白な雲が浮かんでいる。
□⑥ 詳しい地図で道順を確かめる。
- ④ 活用の種類
a 五段活用 b 上一段活用 c 下一段活用
d カ行変格活用 e サ行変格活用
- ⑤ 活用形
ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形
エ 連体形 オ 仮定形 カ 命令形

6 付属語

▼次の文の助詞には——線を、助動詞には——線を引こう。

- ① 食卓にスプーンとフォークを並べた。
□② バスで行けば、すぐ着くはずだよ。
□③ 時間が遅いので、今日は帰ります。
□④ 明日こそ倉庫の掃除をしたいと思う。
□⑤ 友達に急に声をかけて、驚かせてしまった。

▼ 次の——線部の助詞と同じ働き・意味のものを選ぼう。

□ ① ノートの表紙に名前を書く。

ア 犬がそばに寄ってきた。

イ 電車の後、さらにバスに乗る。

ウ 先生は穏やかに話しになった。

□ ② 晴れたから、洗濯物を外に干そう。

ア 北の方から風が吹いてきた。

イ 今日疲れたから、早く寝よう。

ウ 牛乳からバターを作る。

□ ③ 外は寒いが、部屋の中は暖かい。

ア 私が司会を務めます。

イ 兄は人を笑わせることが好きだ。

ウ よく考えたが、結論は出なかった。

□ ④ 部屋の掃除は終わりましたか。

ア 何かおいしい物を食べましょう。

イ 参加するかしないか決めてください。

ウ 最近、どんな本を読みましたか。

▼ 次の——線部の助動詞と同じ働き・意味のものを選ぼう。

□ ① これは僕の腕時計だ。

ア このパソコンは持ち運びに便利だ。

イ 待ち合わせの時刻は午前十時だ。

ウ 皆眠っていて家の中は静かだ。

□ ② 彼の笑顔は太陽のようだ。

ア 池の水面がまるで鏡のようだ。

イ 赤ん坊はどうやら眠たいようだ。

ウ 熱戦に、観客は満足したようだ。

□ ③ 電車はまもなく終点に着くそうだ。

ア 今夜は昨日よりも寒そうだ。

イ この人形は今にも動きそうだ。

ウ 練習の開始時間が変わるそうだ。

□ ④ 明日は風が強いらしい。

ア 向こうから来るのは彼らしい。

イ 小鳥の鳴き声が愛らしい。

ウ 春らしい色のシャツを着る。

□ ⑤ 先輩から励ましの声をかけられる。

ア 朝の風が快く感じられる。

イ 先生はもうすぐここに来られる。

ウ 向こうのドアからも外に出られる。

エ 監督に実力を認められる。

「

」

「

」

「

」

「

」

「

」

「

」

「

」

「

」

「

」

1 言葉の単位

▼次の文を、〈例〉にならって文節ごとに／で区切り、単語ごとに――線を引こう。

〈例〉明け方に／雨が／降った。

- ☐ ① カップに／温かい／紅茶を／注ぐ。
- ☐ ② 新鮮な／魚を／手早く／調理する。
- ☐ ③ 郵便ポストに／手紙を／出しに／行く。
- ☐ ④ バスの／出発時刻を／確かめて／おく。
- ☐ ⑤ 選手たちは／一斉に／プールに／飛び込んだ。

2 文の組み立て

▼次の文の――線部の文節どうしの関係を、後の□から選んで、記号で答えよう。

- ☐ ① 自転車で河原に行ってみる。
□ ア ウ
- ☐ ② 合唱団の歌声が講堂に響き渡った。
□ ア
- ☐ ③ 飛行船がゆっくりと上空を通過した。
□ イ
- ☐ ④ 日が傾いて、空も海も赤く染まった。
□ エ
- ☐ ⑤ 祖父は繰り返し平和の尊さを語った。
□ イ
- ☐ ⑥ 妹ばかりでなく、弟まで僕に反対した。
□ ア

ア 主・述の関係	イ 修飾・被修飾の関係
ウ 補助の関係	エ 並立の関係

3 単語の分類

▼次の文の――線部ア～チの単語について、後の問いに記号で答えよう。

- ^{アイウ}手をきれいに洗^エい、それから昼食^オを取^カつた。^ケ
- ^コああ、あの美しい山^クにいつか登^セりたい。^シ

- ☐ ① 自立語を全て選ぼう。
「ア・ウ・エ・オ・カ・ク・コ・サ・シ・ス・ソ・タ」
- ☐ ② 付属語を全て選ぼう。
「イ・キ・ケ・セ・チ」
- ☐ ③ 活用する単語を全て選ぼう。
「ウ・エ・ク・ケ・シ・タ・チ」
- ☐ ④ 活用しない単語を全て選ぼう。
「ア・イ・オ・カ・キ・コ・サ・ス・セ・ソ」

4 自立語

▼①～⑧がそれぞれ同じ品詞のグループになるように、「」に入る単語を下の「」から選ぼう。

- | | | | | | |
|---------------------------------|--------|------|---|------|---|
| ☐ ① ドア | 北海道 | 一つ | 「 | 窓 | 」 |
| ☐ ② 回る | 味わう | 植える | 「 | 変わる | 」 |
| ☐ ③ しかし | そして | だが | 「 | だから | 」 |
| ☐ ④ ああ | おはよう | さあ | 「 | いいえ | 」 |
| ☐ ⑤ もし | ゆっくり | さらさら | 「 | とても | 」 |
| ☐ ⑥ 爽やかだ | 無理だ | 急だ | 「 | のどかだ | 」 |
| ☐ ⑦ この | あらゆる | おかしな | 「 | どの | 」 |
| ☐ ⑧ 寒い | みずみずしい | 新しい | 「 | 浅い | 」 |

だから	とても
いいえ	窓
どの	浅い
変わる	のどかだ

▼次の――線部の品詞をへ――から選んで、記号で答えよう。

- | | | | | | |
|------------------------------|---------------------|---|---|---|----------------------------|
| ☐ ① ア | 小さな花が咲いている。 | 「 | a | 」 | ☐ b |
| イ | 上着に小さい穴が空く。 | | | | |
| へ a 形容詞 | b 連体詞 | へ | | | |
| ☐ ② ア | いろいろな国を旅したい。 | 「 | a | 」 | ☐ b |
| イ | いろいろな絵はがきを集める。 | | | | |
| へ a 形容動詞 | b 連体詞 | へ | | | |
| ☐ ③ ア | それは私の宝物です。 | 「 | a | 」 | ☐ b |
| イ | その絵は僕が描いたものです。 | | | | |
| へ a 名詞 | b 連体詞 | へ | | | |
| ☐ ④ ア | 彼らは楽しそうに笑い、歌った。 | 「 | a | 」 | ☐ b |
| イ | 兄はかすかな笑いを浮かべた。 | | | | |
| へ a 名詞 | b 動詞 | へ | | | |
| ☐ ⑤ ア | 子孫のために地球の自然を守る。 | 「 | a | 」 | ☐ b |
| イ | あの監督は自然な表情を撮るのがうまい。 | | | | |
| へ a 名詞 | b 形容動詞 | へ | | | |
| ☐ ⑥ ア | あなたとまた会いたいと思います。 | 「 | a | 」 | ☐ b |
| イ | 彼女は画家であり、また詩人でもある。 | | | | |
| へ a 副詞 | b 接続詞 | へ | | | |
| ☐ ⑦ ア | あれが私の通っている学校です。 | 「 | a | 」 | ☐ b |
| イ | あれ、田中さんはどこに行ったのかな。 | | | | |
| へ a 名詞 | b 感動詞 | へ | | | |

5 用言の活用

▼次の——線部の動詞について、④活用の種類と、⑤活用形を後の□から選んで、記号で答えよう。

- ① まもなく彼が来る時間だ。
□ ② もう少し落ち着いて話せ。
□ ③ 校門の前で友達を待つ。
□ ④ 人の嫌がることはしない。
□ ⑤ 試合開始から三十分が過ぎた。
□ ⑥ 窓を閉めれば、静かになる。

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ④ | ④ | ④ | ④ | ④ | ④ |
| 「 | 「 | 「 | 「 | 「 | 「 |
| c | b | e | a | a | d |
| 」 | 」 | 」 | 」 | 」 | 」 |
| ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ |
| 「 | 「 | 「 | 「 | 「 | 「 |
| オ | イ | ア | ウ | カ | エ |
| 」 | 」 | 」 | 」 | 」 | 」 |

④ 活用の種類

- a 五段活用 b 上一段活用 c 下一段活用
d カ行変格活用 e サ行変格活用

⑤ 活用形

- ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形
エ 連体形 オ 仮定形 カ 命令形

▼次の——線部が、④形容詞なら○を、形容動詞なら△を「」に書こう。また、⑤活用形を後の□から選んで、記号で答えよう。

- ① この本は小学生には難しい。
□ ② 遠回りをしたほうが安全だろう。
□ ③ 早ければ、正午に着くはずだ。
□ ④ 夕方の商店街はにぎやかだった。
□ ⑤ 真っ白な雲が浮かんでいる。
□ ⑥ 詳しい地図で道順を確かめる。

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ④ | ④ | ④ | ④ | ④ | ④ |
| 「 | 「 | 「 | 「 | 「 | 「 |
| ○ | △ | △ | ○ | △ | ○ |
| 」 | 」 | 」 | 」 | 」 | 」 |
| ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ | ⑤ |
| 「 | 「 | 「 | 「 | 「 | 「 |
| エ | エ | イ | オ | ア | ウ |
| 」 | 」 | 」 | 」 | 」 | 」 |

- ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形
エ 連体形 オ 仮定形

6 付属語

▼次の文の助詞には——線を、助動詞には——線を引こう。

- ① 食卓にスプーンとフォークを並べた。
□ ② バスで行けば、すぐ着くはずだよ。
□ ③ 時間が遅いので、今日は帰ります。
□ ④ 明日こそ倉庫の掃除をしたいと思う。
□ ⑤ 友達に急に声をかけて、驚かせてしまった。

▼ 次の——線部の助詞と同じ働き・意味のものを選ぼう。

□ ① ノートの表紙に名前を書く。

ア 犬がそばに寄ってきた。

イ 電車の後、さらにバスに乗る。

ウ 先生は穏やかに話しになった。

□ ② 晴れたから、洗濯物を外に干そう。

ア 北の方から風が吹いてきた。

イ 今日のは疲れたから、早く寝よう。

ウ 牛乳からバターを作る。

□ ③ 外は寒いが、部屋の中は暖かい。

ア 私が司会を務めます。

イ 兄は人を笑わせることが好きだ。

ウ よく考えたが、結論は出なかった。

□ ④ 部屋の掃除は終わりましたか。

ア 何かおいしい物を食べましょう。

イ 参加するかしないか決めてください。

ウ 最近、どんな本を読みましたか。

▼ 次の——線部の助動詞と同じ働き・意味のものを選ぼう。

□ ① これは僕の腕時計だ。

ア このパソコンは持ち運びに便利だ。

イ 待ち合わせの時刻は午前十時だ。

ウ 皆眠っていて家の中は静かだ。

□ ② 彼の笑顔は太陽のようだ。

ア 池の水面がまるで鏡のようだ。

イ 赤ん坊はどうやら眠たいようだ。

ウ 熱戦に、観客は満足したようだ。

□ ③ 電車はまもなく終点に着くそうだ。

ア 今夜は昨日よりも寒そうだ。

イ この人形は今にも動きそうだ。

ウ 練習の開始時間が変わるそうだ。

□ ④ 明日は風が強いらしい。

ア 向こうから来るのは彼らしい。

イ 小鳥の鳴き声が愛らしい。

ウ 春らしい色のシャツを着る。

□ ⑤ 先輩から励ましの声をかけられる。

ア 朝の風が快く感じられる。

イ 先生はもうすぐここに来られる。

ウ 向こうのドアからも外に出られる。

エ 監督に実力を認められる。

「エ」

「ア」

「ウ」

「ア」

「イ」

「ウ」

「ウ」

「イ」

「ア」